

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】令和3年1月28日(2021.1.28)

【公開番号】特開2019-117278(P2019-117278A)
 【公開日】令和1年7月18日(2019.7.18)
 【年通号数】公開・登録公報2019-028
 【出願番号】特願2017-250884(P2017-250884)
 【国際特許分類】

G 0 3 B 15/05 (2021.01)

G 0 3 B 17/00 (2021.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 15/05

G 0 3 B 17/00 Q

A 6 1 B 5/00 M

【手続補正書】

【提出日】令和2年12月4日(2020.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

疾患領域の診断を支援する撮像装置であって、

前記撮像装置の動作状態を示し、前記動作状態に応じて点灯状態を変更する第1光源を有する本体部と、

前記本体部に装着され、前記第1光源の前記点灯状態を検知する検知手段、前記疾患領域に向けて光を照射する第2光源、及び、前記検知手段の検知結果に応じて前記第2光源の点灯状態を制御する点灯制御手段を、有するアタッチメント部と、を備えることを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記第2光源は、偏光された光を照射する偏光光源部及び非偏光の光を照射する非偏光光源部を含み、

前記点灯制御手段は、前記検知手段の検知結果に応じて、前記偏光光源部及び前記非偏光光源部の何れかを点灯させるように制御することを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

前記第2光源は、可視光を照射する可視光光源部、近赤外光を照射する近赤外光光源部、紫外光を照射する紫外光光源部を含み、

前記点灯制御手段は、前記検知手段の検知結果に応じて、前記可視光光源部、前記近赤外光光源部及び前記紫外光光源部の何れかを点灯させるように制御することを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項4】

前記検知手段は、フォトセンサであることを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載の撮像装置。

【請求項5】

前記第1光源は、前記本体部の電源ランプであることを特徴とする請求項1乃至4の何

れか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 6】

疾患領域を被写体として撮影する撮像装置の動作状態を示し、前記動作状態に応じて点灯状態を変更する第 1 光源を有する前記撮像装置に装着されるアタッチメントであって、
前記第 1 光源の前記点灯状態を検知する検知手段と、
前記疾患領域に向けて光を照射する第 2 光源と、
前記検知手段の検知結果に応じて前記第 2 光源の点灯状態を制御する点灯制御手段と、
を備えることを特徴とするアタッチメント。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記した課題を解決するために本発明の一態様は、疾患領域の診断を支援する撮像装置であって、前記撮像装置の動作状態を示し、前記動作状態に応じて点灯状態を変更する第 1 光源を有する本体部と、前記本体部に装着され、前記第 1 光源の前記点灯状態を検知する検知手段、前記疾患領域に向けて光を照射する第 2 光源、及び、前記検知手段の検知結果に応じて前記第 2 光源の点灯状態を制御する点灯制御手段を、有するアタッチメント部と、を備えることを特徴とする。

本発明の他の特徴は、本明細書及び添付図面の記載により明らかにする。